



## 笑顔いっぱい かがやく入谷っ子

### 児童総会

6月7日(火)に、児童総会がありました。児童総会で行うことは、3点ありました。「児童会目標決め」「各委員会の説明」「各クラスから出された質問に対する応答」です。

今年度の児童会目標は、「思いやりをもち、笑顔あふれる入谷っ子」に決まりました。児童会目標を決めるにあたり、各クラスで考えたものを児童会が2つの案にまとめあげていきました。どちらにしても、子供たちの思いが詰まっていた目標でした。

A案「何事にもあきらめず、仲間とちょうせんする入谷っ子」

B案「思いやりをもち、笑顔あふれる入谷っ子」

児童総会において、各クラスで多数決をとり、B案に決定しました。お互いのことを考えて、行動しながら、笑顔があふれる学校を創っていくと決めて行動していけるよう支援していきたいと思っています。

2点目の各委員会の委員長からの委員会説明ですが、委員長全員が本当に素晴らしかったです。児童会会長から説明が始まり、環境委員長、体育委員長、園芸委員長、飼育委員長、給食委員長、図書委員長、保健委員長、放送委員長が、委員会の目標・年間計画・活動内容について、自分の言葉でしっかりと説明していました。本番当日を迎えるまでに、何度も練習を重ねている姿を見たり、聴いたりしていました。誠実に真摯に練習に取り組む姿に感動しましたし、当日には、積み重ねた練習の成果が発揮され、良かったなあと心から思いました。全校に手本となる姿を見せて

くれた委員長に感謝しています。

3点目の「各クラスから出された質問に対する応答」ですが、児童会や担当の教員が答えました。学校をよりよくするために必要だと思うことは、子供たちが質問していいのだという入谷小学校の動きは素晴らしいと思います。大きな変化はありませんでしたが、一つ一つの質問に丁寧な回答があり、子供たちも納得できたのではないかと考えます。

自分たちの学校を自分たちの手でよりよくしていくという思いを表現させていくことや、自分たちの思いを実現できるよう、場を設定していくことが、子供たちにとって力になっていると思います。子供たちの声に耳を傾け、子供たちの考えや思いを大切にこれから教育活動を進めていきたいと思っています。

### 年をとるほど新しい

この言葉は、「しあわせは涙のあとに届くもの：ジャンヌ・ボッセ 作」の中にあつたものです。

人は生き物ですから、年と共に老いていきます。でも新しい気持ちで生き直すことは、どなたでもできること。いつからでもできます。今までと少し違うことをするだけで、少しずつ生活が新鮮になると思います。

年をとることで新しくなるという見方は、ほっとする考え方です。なぜなら、今日の自分は、昨日の自分から変化させることができるという希望につないでいくことができるからです。自分が成長していきたいという思いをもつことができれば、「今からでも新しい自分になることができる」ということを子供たちにも伝えていきたいと思っています。